

みなさん知らず知らずにやってませんか？

石油ファンヒーターや石油ストーブの事故が発生しています。
以下のことに注意して、正しく取り扱しましょう!!

1. 使用直後の暖房器具の近くで注油は行わない

灯油タンクが倒れたり灯油ポンプが抜けたりして、こぼれた灯油に引火し、火災につながる可能性があります。火の気があるところでの注油は行わないようにしましょう。また、注油を行うときは必ず消火してから行うようにしましょう。



2. 灯油タンクに注油を行う際、その場を離れない

灯油ポンプで注油中にその場を離れると、吹きこぼれるおそれがあるのでその場は離れないようにしましょう。



3. 灯油タンクのキャップは確実に閉める

キャップを完全にしめつけないまま暖房器具にセットしようとすると、漏れた灯油がストーブにかかり出火するおそれがあります。キャップは確実に閉めましょう。また、灯油タンクのキャップが一体式のものは、カチッとロックがされたことを確認するようにしましょう。



4. 暖房器具の近くには洗濯物等を干さない

洗濯物が気づかないうちに、暖房器具に落下して出火するおそれがあります。また、暖房器具は壁、カーテン、ふすま、障子等から十分な距離をとるようにしましょう。

間違った例



5. スプレー缶等を近くに置かない

化粧品や塗料、殺虫剤などのスプレー缶や消毒用アルコールなどは、引火や爆発の危険があります。暖房器具の近くで使用したり、暖房器具の近くに放置しないようにしましょう。

間違った例



6. 昨シーズンの灯油は使用しない

昨シーズンの灯油を使用すると、不完全燃焼による一酸化炭素（CO）中毒やストーブの故障を招くおそれがあります。

間違った例



7. 適度に室内の換気を行う

1時間に1～2回（1～2分）程度換気を行きましょう。換気は、2ヶ所以上の（風の出入のある）開口部を設けると効率良くできます。換気が不十分だと室内の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素（CO）中毒を起こし、死亡事故にいたるおそれがあります。

間違った例

